

新型コロナウイルス感染予防のため、たくさんのご協力をいただきありがとうございます。依然として緊急事態宣言発令中となっています。気を緩めずにそれぞれができる感染予防を続けていきましょう。また、じめじめと毎日暑い日が続いています。熱中症に気をつけ、水分補給や体調管理に気を付けながら、元気に夏をのりきりましょう♪

新型コロナウイルス・他感染症蔓延防止のためのお願い

子ども同士、また子どもと保育者同士のふれあいが欠かせない子ども達が集まる保育園では「密」をさけることはとても難しいです。。

登園前に37.5℃以上の発熱、呼吸器症状(咳・痰・鼻水等)、腹部症状(下痢・嘔吐・食欲不振)、体がだるい等不調がある時は、無理な登園を控え、自宅療養や病児・病後児保育園を利用する等をし、他の子ども達にうつさない配慮をお願いします。



プールがはじまります!(^~)!



プール・水遊びは、子どもたちが水に触れることを通して水に慣れ親しみ、心を開放させるので、暑い日を気持ちよく過ごすことができます。また、皮膚も心も鍛えられることで子どもたちの健康増進を図ることを目的としています。

- * 耳、鼻、喉、目、皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。
- また、治療中の病気などがあれば、事前にお知らせください。
- * 爪を切りましょう。長いと怪我の原因となります。

こんな時はプールに入れません!!

- ・熱がある。または、前日に熱があった。 ・咳、鼻水がある。
- ・目が赤く充血している。 ・喉やその周りが赤い、喉に痛みがある。
- ・目やに、耳だれが出ている。 ・耳の痛みを訴える。 ・とびひがある。
- ・頭シラミがいる。 ・治療薬を内服中である。 ・爪が長い。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水膨れになったり、かさぶたになったりします。中でも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。

注意

とびひは学校保健安全法の中で学校感染症第三種として扱われています。接触することで他の人にうつる可能性があるため、医師の診察を受け、幹部をガーゼや包帯で覆って露出していなければ、登園できます。しかし、多発している場合や身体全体に広がっている場合は出席停止が必要です。いずれにせよ、専門医の判断が必要なため、症状が見つかった場合にはひどくならないうちに早期受診を心がけましょう。また、症状が治まっても菌が存在することがあります。自己判断で薬をやめたりせずもらったお薬は最後まで使いきりましょう。

とびひ、または乾いていない傷跡があるときは
必ずガーゼで覆ってから登園してください!!

